



これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめきり 6月10日迄
- あて先 〒783 南州市大浦甲三〇一 南州市企画課 親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈
- ◎第5回親子クイズの答えは、リユクサクサクでした。
- 第5回当選者発表(敬称略)
- (応募総数20通)
- 安藤美紀 (浦野)
- 西山幸一郎 (大内)
- 久保東美子 (前浜)
- 坂本沙樹 (上末松)
- 野口修幸 (久礼田)

思いがけず嬉しい

- ◆三十五年前、初めての遠足に買ってもらった赤いリュックをかるうて(背負うこと)、興津の時から浜まで歩きました。
- ◆修学旅行へ行くとき、母が手作りしてリュックサクを作ってくれたことがあります。リュックサクは売っているものとはかり思っていた私は、内心恥ずかしい思いを持っていたものの、そのリュックで、無事旅行を終えました。いまでも母に感謝しています。
- ◆ショッピングで高知へ行くとき、かならずさげていきます。
- ◆小学一年生になって、真新しいのを春の遠足に持って行けることを楽しみにしたことで、でも、戦争中はこれを背負って逃げまわった苦しい思い出もあります。
- ◆ほくが持っているリュックサクは、保育園のころから使っていて、今ではもう小さいです。リュックサクにお弁当やお菓子をいっぱい詰め込んで、山にピクニックに行きました。
- ◆二歳の息子の初めての遠足の日、保育園に行く朝からリュックをかるい(背負い)、大喜びでした。



みんなの

広場



club 777



日章小 昔遊びクラブ

ピー玉、めんこ、こま回し……。昔なつかしい遊びばかりを集めて、楽しんでいるのがこのクラブ。今年2年目で、現在、松木真紀先生、平田りさ先生と16人の部員で活動中。

「今の子は家にこもりがちなので、学校では思い切り体を使って遊んでほしい。昔の遊びを通して、みんなが仲良くふれ合う時間、場所が増えたらいいですね」と松木先生は考えています。

おじゃました日は、みんなでこま回しに挑戦。初めての人もいたようで、最初はとまどっていましたが、みんななだいに上達。「小さいころにやったことはあるけど、久しぶりなので難しい、でも楽しい」と有沢静香ちゃん。

下村洋之君は2年続けての入部で「ファミコンも面白いけど、友達と一緒にいろんなことをして遊ぶのが楽しい。弓矢作りなんかが好き」とこのクラブの楽しさを話してくれました。

世界青年の船に参加して

私は、今年の一月元から三月元の二カ月間総務庁主催の国際交流活動の一環である「世界青年の船」に参加しました。「にっぽん丸」という大船客船で、スリランカ・ケニア・ギリシャ・インドを訪問しました。



左が山崎さん

の文化、日本語、アフリカの言語、心理学、環境問題、若者の持つ問題などがありました。環境問題がテーマであったディスカッションではインドやスリランカの参加青年が経済の発展と環境問題との関連性について積極的に意見を述べていた姿がいまでも思い出されます。

訪問国では各地の名所を訪ねたり、現地のユースセンターや大学で参加青年の友人たちと交流を深めました。一番印象に残っているのは、ケニアの国立公園で大自然の中の野生の動物に出会えたことでした。ここでは私たちがオリに入られた動物のようでした。こんな広大で素晴らしい自然をまたへ行くことができずにはいられません。

時代々の生活そのもので、近代化された町からほんの二、三キロ離れた所に彼らの村があります。学校へ通っている子もいましたが、ほとんどの子は牛の世話や畑仕事に従事しているようです。大自然の中で自然と共に生きる人間の素朴な姿がとても印象的でした。

われらサカレ仲間



今回は「久礼田お母さんコーラス」を紹介します。

午後7時半になると、家庭の仕事を終えた、部員たちが集まり始めます。

7年前、子供の小学校卒業式の日に行われた「茶話会」で歌ったのがきっかけとなり、6人で始めたのが最初で、現在部員は15人。月2回久礼田小学校体育館で練習をしています。

指導にあっている井口恵輔・洋子先生は、「家庭と仕事をもって、よくここまで続けてくれました。尊敬に値する」と絶賛しています。チームワークがよく、とにかく集まってみんなで歌うことが、何よりの楽しみというのが部員の一一致した意見のようです。

結成7年目を迎える今年、秋には記念のコンサートを開く計画を立てています。

コーラスとしては人数不足で、現在部員を募集しているそうです。「普段はなかなか出せないような大声で歌うのにとってもむね。ぜひ、いっしょに歌いましょう」とのことです。

※ 連絡先は竹崎紗(☎2302)まで